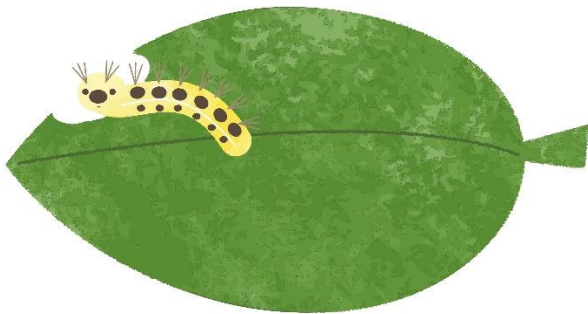


5月に入り、新緑が美しい季節になりました。
今回は、これからの時期に増えてきて、遭遇しやすい害虫「チャドクガ」についてとりあげたいと思います。

チャドクガとは

チャドクガは、毒蛾の一種です。幼虫(毛虫)は、ツバキ、サザンカ、チャなど、ツバキ科の植物の葉を食べて成長します。毛虫は、年2回、5～6月と8～9月頃に発生し、7～8月と9～11月に成虫(蛾)になります。



特に被害が多いのが毛虫の時期です。毛虫の針には毒があり、この針が皮膚につくと、痒みの強い皮膚炎を起こします。

目に見えないぐらいの針なので、直接触らなくても、風に飛ばされた針が刺さって、痒みが出ることがあります。

ツバキ科の植物は、家の庭や公園などに植えられていることが多く、特に毛虫の時期は、葉の裏側に密集して生息していて、毛虫がいることに気づきにくく、刺された記憶がないのに症状が出る人が多いです。



症状

赤い発疹ができて、強い痒みを伴います。刺された直後でなく、少し時間がたってから症状がでることもあります。

刺されたことに気づかずに搔くと、患部が広がり、さらに痒みが強くなります。

痒みの症状が消えるまでに、1～2週間程度かかります。

対処法

★こすらない、搔かない。

搔くと、患部が広がり、症状がひどくなります。

★セロハンテープやガムテープで毛虫が触れた周辺をそっと斜めに押さえて毒針を取り除き、よく泡立てた石鹸をつけて、強い流水やシャワーで残った毒針を洗い流す。

★衣服についた毒針は、ガムテープなどで取り除き、他の洗濯物と区別して洗濯する。すすぎを長めにしたり、2回以上洗濯をすると毒針が落ちやすくなります。

★他の洗濯物と一緒に洗濯をすると、毒針と一緒に洗った洗濯物にうつり、それを着ることで、痒みが再燃することがあります。

★お湯(50℃以上)で洗うと、毒針が無毒化するので効果的です。

★症状がひどいとき、範囲が広い場合は早めに皮膚科を受診してください。

目の場合は、水で充分洗い流した後、眼科を受診してください。

参考: 虫と皮膚炎(秀潤社)

日本中毒情報センター

